

インテリアでの空間展示を極力増やし、エンドユーザーの完成後のイメージ作りの場になるよう心掛けております。お蔭様で週末の土曜、日曜を中心に多くのお客様に御来場いただき



おお客様に存在感ある企業となるため
 (株)アベルコ 常務取締役 船橋 朗

新年明けましておめでとうございます。旧年中は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、昨年の業界環境は設備投資や個人消費など緩やかな回復の兆しが見られ、住宅関連市場でも低金利や住宅取得促進策等により堅調に推移しましたが、



消防団員の一人として
 顧問 永井 博

新年あけましておめでとうございます。昨年の12月7日午後5時18分頃、三陸沖を震源とする強い地震がありました。青森、岩手、宮城、茨城、栃木の各県で震度5弱、北海道から九州の広い範囲で震度4から1の揺れが観測されました。東京でもかなり長い時間、強い揺れを感じました。気象庁は約1mの津波が予想されるとして津波警報を発令、テレビで



業界の底上げに努力しよう
 顧問 渡邊 正幸

平成25年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。旧年中は、組合員の皆様に、組合事業に深いご理解と協力を賜り、誠にありがとうございました。

おり、順調なスタートとなりました。この場をお借りし御礼申し上げます。新刊予定となっております。これらの広告宣伝媒体をからいたしておりました御指摘を参考にし、タイル社は、タイルの需要創造に注力し、生産・販売・工事

新築需要の未来は明るいと言われている。高品質な商品づくりとサービスの充実を努めてまいり所存でございます。また、当社の営業方針である「人づくり」の一環として、施工体制の充実と商品知識向上を図るために、昨年6月には「総合技術研修センター」を立ち上げ、

も何度も非難するよう呼びかけていました。気象庁によると震源の深さは約10km、地震の規模を示すマグニチュード(M)は7.3と発表。東京電力では、この地震による原子炉に異常はないと報じました。未だ記憶に新しい日3年3・11(M9.0)の大震災の復旧復興のさなかに起きたこの度の三陸沖地震は、いったい何を物語っているのか。NHKの総合

今年3月11日被災満2年になる東日本大震災を思ふ時、天災と人災の二つの事象を捉え、地震・津波は天災として受けとめ、復興は人災として受けとめ、復旧は時間の問題で歳月が経過すると元の生活に戻れま

の連携を深めタイル業界の発展に努める所存です。最後になりますが、東夕協様の益々のご発展と組合員皆様のご健康を祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

変化がさらに著しくなると予想される中、お得意様・取引先様に対して影響力(存在感)のある企業となるための努力を怠りたくありません。最後になりましたが、皆様方のご活躍とご多幸を心から祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

災害とは、自然のわざわいだと思います。『わさわい転じて福となす』と言います。誰もが被害を出さないよう、また被害があってもそれを最小限にとどめるよう、大震災の生々しい記録や経験を引き継いでいくことが大切なことだと思えます。寒い冬でも春は必ずやってくる。本年も皆様のご健勝とご多幸を心から祈年申し上げます。『災害は忘れなす。一人でも多くの方に命を守ってほしい』との願いが込められて伝わってくるのです。

卒者が増加し、関係者が苦労しているとの情報もあり、若手見習いを募集しても困難な場合、外国人研修生採用も一考の価値はあります。言葉や生活習慣の相違などが障壁になりませんが、一人一人と始める事も勇気が要ります。顧みると、昭和30年、40年代の職人の年収は銀行や企業の支店長・部長並みでした。職人になるために弟子入りする若者が多く、当時の親方は若い衆を集めるのに苦労はなかった。知人や親戚等が入職を希望する者を連れて来て、寧ろお断りするのは困ったもので

社員や協業者に対して商品研修や施工研修を行うことにより施工品質の向上に努めてまいります。業界の



絆を大切に「相互扶助」の精神で
 総務部長 葭原 隆雄



賦課金の有意義な活用を
 経理部長 渡邊 尚

平成25年の新年を迎え、いかがお過ごしでしょうか。長く厳しい建設業界にあつて、その下支えをするタイル業界では、なお一層厳しさが身にしみる昨今。本年こそは良い年になり、本年組合員は104名



謹賀新年
 西暦2013年

東京都タイル煉瓦工事工業協同組合

理事 堀越 孝志

東京都タイル煉瓦工事工業協同組合

理事 山下大樹郎

東京都タイル煉瓦工事工業協同組合

理事 狩野 明彦

東京都タイル煉瓦工事工業協同組合

理事 増田 博昭

東京都タイル煉瓦工事工業協同組合

理事 小宮籐二郎

東京都タイル煉瓦工事工業協同組合

理事 西川 勝

東京都タイル煉瓦工事工業協同組合

理事 伊藤 徹

TILES タイルの本

タイルの専門月刊誌『タイルの本』は2008年1月の創刊以来、タイルに関するさまざまな情報を提供し、タイルのすぐれた施工事例やデザイン提案をはじめ、タイル文化を楽しむ特集を組んでおります！(A4変形版、カラー32頁+モノクロ8頁+a)

●年間定期購読料 4,800円 (税込、送料当社負担) 毎月1回お届け先に直送します。

お申込は郵便振替口座 00130-2-542796 (名義: タイルの本編集室(株)) での払込をお願いいたします。

○タイルの本編集室(株) 〒162-0843 新宿区市谷田町2-29 こくほ21・5F TEL 03-5225-6863 FAX 03-5225-6477

本年もよろしくお願ひ申し上げます

事務局長 親川芳郎

事務局員 園山昌代